7 航路標識

(1) 灯　台

名　称	管理者	位　置	灯　質	光度(カンデラ)	灯火からの高さ(m) 平均水面上	灯火からの高さ(m) 基礎上	光達距離(海里)	塗色及び構造
清水灯台	清水海上保安部	N35°00′.38.1″ E138°31′.49.5″	群白入四全 毎20秒に1白光	実効光度 50,000	21.00	15.60	14.0	白色塔 白色帯 コンクリート造
清水港三保防波堤灯台	清水海上保安部	N35°01′.40.2″ E138°31′.10.3″	群白入赤光 毎15秒に2白光	実効光度 390	18.02	13.87	7.5	白色塔 コンクリート造
清水港三保防波堤灯台灯柱	清水海上保安部	N35°01′.25.8″ E138°31′.28.3″	群白入緑光 毎15秒に3白光	実効光度 390	18.04	14.98	7.5	白色塔 コンクリート造
清水港外防波堤灯台	清水海上保安部	N35°02′.52.3″ E138°31′.46.9″	等明緑単光 毎4秒間隔4秒	110	17.90	10.20	5.5	白色塔 コンクリート造

(2) 導灯・施設灯

名　称	管理者	位　置	灯　質	光度(カンデラ)	灯火からの高さ(m) 平均水面上	灯火からの高さ(m) 基礎上	光達距離(海里)	塗色及び構造
清水港導灯（前灯）	清水海上保安部	N34°59′.39.3″ E138°29′.56.0″	不動緑光	1,400	23.01	20.90	10.0	赤色三角形 赤縞付白色塔 ひべら掛造
清水港導灯（後灯）	清水海上保安部	N34°59′.36.5″ E138°29′.59.5″	不動緑光	1,400	28.62	25.90	10.0	
清水港ENEOSシーバース灯	ENEOS㈱ 鳥水油槽所	N35°01′.25.5″ E138°31′.25.0″ (1)(2)(3)(4)(5)(6) 主灯及び副灯2(3)(4) (5)(6)方位240度	モールス符号 白光毎14秒に1 (1・2・3) 木灯2(7)副灯2(8) は閃光している	実効光度 1,500 副灯 実効光度 270	30.0 副灯 8.5 副灯 8.6	海面から 基礎まで 5.52.0	10.0 副灯 6.5	鉄造

(注)実効光度とは、人間の光の感じ方等を考慮した灯火の明るさ（強さ）である。

8 荷役機械

	設　置　場　所	管　理　者	荷　役　機　械　名	型　　式	数量	定格荷重及び1時間当たり公称能力	主たる用途
公共岸壁	新興津埠頭	静岡県	コンテナレーン新興津第１～3号	ロードトロリ式	3	コンテナ定格荷重：40.6t(重量物：50.0t)	コンテナ
	新興津埠頭	静岡県	コンテナレーン新興津第４・５号	マントロリ式	2	コンテナ定格荷重：40.6t(重量物：50.0t)	コンテナ
	新興津埠頭	静岡県	コンテナレーン新興津６号	ロードトロリ式	1	コンテナ定格荷重：シングル40.6t(重量物：69.1t) ツイン61.0t	コンテナ
	新興津埠頭	鈴与(株)	トランスファークレーン	タイヤ式	25	コンテナ定格荷重：40.6t	コンテナ
	袖師第１埠頭	静岡県	コンテナレーン袖師１号	マントロリ式	1	コンテナ定格荷重：30.5t(重量物：41.5t)	コンテナ
	袖師第１埠頭	静岡県	コンテナレーン袖師３・５号	ロードトロリ式	2	コンテナ定格荷重：30.5t(重量物：45.0t)	コンテナ
	袖師第１埠頭	鈴与(株)	トランスファークレーン	タイヤ式	7	コンテナ定格荷重：40.6t	コンテナ
	清水岸壁	鈴与(株)	コンベアー	旋回式	1	公称能力150t/h	ミール
	富士見埠頭	静岡県	アンローダー	水平引込式	1	公称能力400t/h	ウッドチップ
	富士見埠頭	静岡県	コンベアー	ベルト式	2	公称能力360～500t/h	ウッドチップ
	富士見埠頭	静岡県	ニューマチックアンローダー	空気吸引式	1	公称能力300t/h	穀物
	富士見埠頭	静岡県	機械式連続アンローダー	機械式	1	公称能力600t/h	穀物
	富士見埠頭	静岡県	コンベアー	チェーン式・ベルト式	3	公称能力360～600t/h	穀物
	富士見埠頭	清水興国(株)	セメント揚機	本船圧送式	1	公称能力400～600t/h	セメント
	富士見埠頭	清水興国(株)	セメント揚機	本船圧送式	1	公称能力450t/h	セメント
	保関岸壁	三保海運(株)	ジグプレシ	高揚・水平引込式	1	定格荷重：1.8t	鋼材・鋼塊・鋼鉄
専用岸壁	静岡市岸壁	太平洋セメント(株)	セメント揚機	本船圧送式	2	公称能力300t/h	セメント
	ノオイルミルズバンク	(株)ノオイルミルズ	ニューマチックアンローダー	真空吸上式	1	公称能力300～400t/h	穀物
	ノオイルミルズバンク	ノオイルミルズ	機械式アンローダー	機械式	1	公称能力400～500t/h	穀物
	日本軽金属岸壁	日本軽金属(株)	アンローダー	ロータリーリーマ式	2	公称能力500t/h	水酸化アルミニウム

9 公共上屋

所在埠頭名	管理者	名　称(等級)	棟数	総床有効面積(㎡)	構　造
興津第１埠頭	静岡県	興津２号上屋(S)	1	5,354.5	鉄筋コンクリート平屋建
興津第１埠頭	静岡県	興津３号上屋(S)	1	5,354.5	鉄筋コンクリート平屋建
興津第１埠頭	静岡県	興津４号上屋(S)	1	2,088.0	鉄筋コンクリート平屋建
興津第２埠頭	静岡県	興津６号上屋(S)	1	4,643.4	鉄筋コンクリート2階建、2階4,643㎡は鈴与(株)所有
興津第２埠頭	静岡県	興津７号上屋(S)	1	4,643.4	鉄筋コンクリート2階建、2階4,643㎡は清水港川倉庫事業(協)所有
興津第２埠頭	静岡県	興津８号上屋(S)	1	4,799.3	鉄筋コンクリート2階建、2階は鈴与(株)、新興港運(株)所有
興津第２埠頭	静岡県	興津12号上屋	1	6,573.9	鉄骨造2階建
興津第２埠頭	静岡県	興津13号上屋(S)	1	6,509.0	鉄骨造2階建
日の出埠頭	静岡県	１Ｄの出新１号上屋(S、くん蒸)	1	9,716.5	鉄骨鉄筋コンクリート2階建
日の出埠頭	静岡県	日の出新２号上屋(2)	1	9,569.7	鉄骨鉄筋コンクリート2階建
富士見埠頭	静岡県	富士見７号上屋(S)	1	4,248.0	鉄骨鉄筋コンクリート平屋建
合　計			11	63,500.2	

10 公共荷さばき地

(注)所在地は全て静岡市清水区

	所在埠頭名/名称	所在地	面積(㎡)	構　造	対　象　物
一般	興津第1、興津第2/荷さばき地-9号	興津清見寺町	4,358	一般舗装	コンテナ、資機材、合板、松阪
	袖師第1/荷さばき地1-2,5号	横砂	13,568	一般舗装	鋼材,木材,スクラップ,砕利
	清水/荷さばき地	新清町	2,100	一般舗装	雑貨
	富士見/荷さばき地1-3号	清開	5,164	一般舗装	スクラップ等
	江尻/荷さばき地1-2号	袖師町字鬼島	7,980	一般舗装	冷凍魚
	小　計		33,170		
特級	新興津/荷さばき地１号	興津清見寺町	73,523	特殊舗装	コンテナ
	新興津/荷さばき地２号	興津清見寺町	1,124	特殊舗装	コンテナ
	新興津/荷さばき地３号	興津清見寺町	64,748	特殊舗装	コンテナ
	袖師第１/荷さばき地３号	横砂	11,200	特殊舗装	コンテナ
	袖師第１/荷さばき地４号	横砂	64,672	特殊舗装	コンテナ、シャーシ
	小　計		215,267		
	合　計		248,437		

11 公共野積場

(注)所在地は全て静岡市清水区

	所在埠頭名/名称	所在地	面積(㎡)	構造	対象物
一般	興津第1、興津第2 /野積場1-4号、7-12号	興津清見寺町	52,345	一般舗装	雑貨,コンテナ,機械
	興津第1/野積場2-9号	横砂	116,837	一般舗装	コンテナ,材木,シャーシ
	富士見野積場	清開	503	一般舗装	雑貨
	江尻野積場	江尻	7,881	一般舗装	木材
	新興津野積場2号	興津清見寺町	16,049	特殊舗装	コンテナ
	小　計		193,615		
一般	興津第１/野積場６号	興津清見寺町	1,908	未舗装	コンテナ等
	袖師第１/野積場１号	横砂	8,658	未舗装	砂利
	小　計		10,566		
	合　計		204,181		

12 曳船

船　名	構　造	馬力数(G/T)	機　関 種　類	機　関 公称軸馬力	運航者
富嶺丸	鋼船	193.00	ディーゼル	3,600	清水港曳船
天城丸	鋼船	193.00	ディーゼル	3,600	清水港曳船
玉丸丸	鋼船	190.00	ディーゼル	3,600	清水港曳船
興津丸	鋼船	193.00	ディーゼル	3,600	春海曳船(株)
みはる	鋼船	195.00	ディーゼル	3,600	東海曳船(株)
やまと	鋼船	181.00	ディーゼル	3,600	春海曳船(株)

13 給水設備

種　別	設　置　場　所	経　営　者	数量(箇所)	1時間当たり最大能力(t/h)
給水栓	新興津埠頭	清水ポートサービス(株)	11	各70
給水栓	興津第１埠頭	清水ポートサービス(株)	15	各30
給水栓	興津第２埠頭	清水ポートサービス(株)	33	各30
給水栓	袖師第１埠頭	清水ポートサービス(株)	33	各50
給水栓	袖師第２埠頭	鈴与(株)	7	各35
給水栓	江尻埠頭	(一社)清水港港振興会	28	各20
給水栓	日の出埠頭	清水ポートサービス(株)	11	各30
給水栓	巴川左岸第１物揚場	清水ポートサービス(株)	3	各30
給水栓	富士見埠頭	清水埠頭(株)	12	各40
給水栓	日本軽金属岸壁	日本軽金属(株)	3	各40
給水栓	ノオイルミルズバンク	(株)ノオイルミルズ	4	各30
給水栓	ENEOS2～4号桟橋	ENEOS(株)((株)ハヤシ海運)	2	各13
給水栓	ENEOS 6-8-10号桟橋	ENEOS(株)((株)ハヤシ海運)	3	各25
給水栓	埋立護岸A	日本軽金属(株)	4	各10

14 その他の港湾施設等

(注)所在地は全て静岡市清水区

種　別	名　称	所　在　地	数　量	能　力　・　構　造
廃油処理施設	清水港廃油処理場	袖師町	1式	岸壁 D=−4.5m　L=70m
港湾通信施設	清水船舶無線センター (清水港無線電話局)	興津清見寺町	135.6m	鉄筋コンクリート3階建 L&Tポートクリオ銘板36W
駐車場	立て掛け式駐車場	横砂	5,322m²	コンテナシーシ162台
	江尻駐車場	島崎町	2,237m²	77台
	日の出埠頭駐車場	日の出町	1,532m²	49台(一部使用休止)
	日の出駐車場(マリパーキング)	港町	17,219m²	560台(内バス4台)
	富士見駐車場	清開	3,392m²	94台
避泊道	避泊道	港町	276m	
緑地	日の出緑地	港町	24,375m²	シンボル緑地
	日の出埠頭緑地	日の出町	2,632m²	休憩緑地
	新興津緑地	興津本町 興津清見寺町	36,663m²	緩衝緑地
	折戸潮彩公園	折戸	10,782m²	リクリエーション緑地
待合所	客船ターミナル	日の出町	600m²	鉄骨鉄筋コンクリート 収容人員300人
	船員船客待合所	日の出町	84m²	
	日の出旅客待合所	日の出町	2,106m²	
	清水国際クルーズターミナル	日の出町	2,013m²	
その他港湾管理施設	港湾関連記録用展示室	日の出町	853m²	鉄筋コンクリート (2階2,509㎡、3階603㎡)
物流センター	清水港複合物流センター	興津清見寺町		天井クレーン最大30+10t
	倉庫棟		4,442m²	フォークリフト最大20t
	梱包工場		2,096m²	
	興津第国際物流センター	興津清見寺町	74,000m²	鉄骨造2階建

15 港湾厚生施設

(注)所在地は全て静岡市清水区

施　設	所　在　地
清水港湾労働者福祉センター	横砂字御林組408−13
清水港湾福利厚生協会興津センター	興津清見寺町1375-20
江尻埠頭津波一時避難施設	袖師町1974-3

袖師第一埠頭

総面積	157,258㎡
コンテナ着岸能力	グランドスロット　1,656TEU
岸壁	3バース　720m　水深−12.0m
メンテナンスショップ	2棟 ・No.1　1,072㎡ (荷役機械用) ・No.2　1,284㎡ (コンテナ修理用)
タンクコンテナ洗浄施設	1レーン (洗浄3レーン、乾燥2レーン)
ゲート	8レーン附属施設 (40tトラックスケール1台)
くん蒸庫	鉄骨平屋建　900㎡(コンテナくん蒸専用)
修理庫	鉄骨平屋建　654㎡(輸入農産物検査用)
冷凍電源設備	440V/30A 220V/60A 244口　冷凍コンテナ庫エクーリングエリア10レーン 220V /60A 4口　440V/32A 1口　冷蔵シャーシ用
船舶給水施設	15箇所
照明設備	夜間照明設備 7基
荷役機械	・コンテナクレーン6基

仕様	1～3号機 (三菱重工)	4-5号機 (三井造船)	6号機 (JFEエンジニアリング)
吊上荷重	59.7t	57.3t	78.4t
定格荷重	40.6t	40.6t	61.0t
アウトレーチ	51.5m	51.5m	65.0m
バックリーチ	15.0m	15.0m	15.0m
全揚程	51.5m	51.5m	65.0m
対応船舶	オンデッキ6段−1列	オンデッキ6段−1列	オンデッキ8段−2列

・トランスファークレーン25基 (ダイヤ式構型)　(定格荷重40.6t)
・コンテナフォークリフト6台

興津第二埠頭

総面積	66,042㎡
コンテナ着岸能力	グランドスロット　1,201TEU
船舶給水施設	8箇所
照明設備	夜間照明設備 3基
荷役機械	コンテナフォークリフト2台

袖師第一埠頭

総面積	157,258㎡
コンテナ着岸能力	グランドスロット　1,656TEU
岸壁	3バース　720m　水深−12.0m
メンテナンスショップ	2棟 ・No.1　1,072㎡ (荷役機械用) ・No.2　1,284㎡ (コンテナ修理用)
タンクコンテナ洗浄施設	1レーン (洗浄3レーン、乾燥2レーン)
ゲート	8レーン附属施設 (40tトラックスケール1台)
くん蒸庫	鉄骨平屋建　900㎡(コンテナくん蒸専用)
修理庫	鉄骨平屋建　654㎡(輸入農産物検査用)
冷凍電源設備	440V/30A 220V/60A 244口　冷凍コンテナ庫エクーリングエリア10レーン 220V /60A 4口　440V/32A 1口　冷蔵シャーシ用
船舶給水施設	15箇所
照明設備	夜間照明設備 7基
荷役機械	・コンテナクレーン3基

仕様	1号機(休止中) (JFEプラントエンジ)	3号機 (JFEプラントエンジ)	5号機 (JFEエンジニアリング)
吊上荷重	48.6t	52.2t	50.0t
定格荷重	30.5t	30.5t	30.5t
アウトレーチ	37.2m	46.0m	46.0m
バックリーチ	12.0m	12.0m	12.0m
全揚程	36.3m	50.0m	50.0m
対応船舶	オンデッキ4段−1列	オンデッキ5段−1列	オンデッキ5段−1列

・トランスファークレーン7基 (ダイヤ式構型)　(定格荷重40.6t)
・コンテナフォークリフト8台
・トラクターヘッド31台
・ヤードシャーシ45台 → 3棟誘で共用

コンテナターミナルの概要

浜松内陸コンテナ基地(インランド・デポ)

用地面積	32,921㎡ (指定保税地域)	トラック・チェック・ブース	軽量鉄骨鋼板平屋建12㎡
コンテナフレートステーション	軽量鉄骨鋼板平屋建1,133㎡ (1号棟9,306㎡、2号棟1,827㎡)	コンテナ・ヤード(CY)	重舗装(一部軽舗装)11,880㎡
管理棟	軽量鉄骨平屋建566㎡	関連施設	トラック・スケール　1台
くん蒸棟	鉄筋コンクリート平屋建70㎡		冷凍コンセント　6口



自　然　状　況

1 地理上の位置

清水港は北緯35°00′.31″、東経138°29′.47″(清水港管理局の位置)、本州のほぼ中央、駿河湾の西岸に位置し、西方�県市へ90km、東方沼津市へ42km、名古屋、東京同港の中間にあります。

2 地　勢

清水地区付近は、赤石山脈の南部にあたる竜爪山を中心とする山地からの流出土砂が堆積してできた堆積層からなっており、清水港を大きく緩慢しています。

三保半島は、安倍川からの流出土砂や有度山や魚からの浸食により生じた土砂が、波や潮流によって運ばれ東方にできた砂嘴です。

3 風及び波浪

清水港における強風の最多風向は、S～WSW方向及びENE～ENE方向で、港内の静穏度はNE～E方向の風の影響が大きく、これによっておこる波は、波高3m周期6sec程度で、それ程大きくありません。

また、発達した台風時の波高は、冲波SSE10.2m周期18sec程度に及びますが、外港防波堤及び三保防波堤の築造により港内ではすべて1.2m以下の波高におさえられています。

4 潮　流

清水港内の潮流は、概ね港口において、上げ潮流は南西方向、下げ潮流は北東方向に流れ、最大流速は大潮時、上げ秒速0.6m、下げ秒速0.14m前後です。

5 港　域

種別	法令別	区　　域	面積(ha)
港湾法	水域	清水灯台(N35°00′.38″、E138°31′.50″)から八木間灯(-)三等三角点(244.3アメートル)の方向に6,000メートルの点までいた後、同点から2°59′.0″にいた線及び陸岸に囲まれた海面並びに三保灯台標下6,000の水面	1,246
	陸域	服港地区	509
港則法		清水灯台(N35°00′.38″、E138°31′.50″)から6,600メートルの地点から3°引いた線及び陸岸により囲まれた海面並びに手島標下0.0の引水面	—

(令和7年1月1日現在)

清水港の管理機構

静岡県(港湾管理者) → 交通基盤部 → 港湾局 → 清水港管理局

- 総　務　課 (054-353-2201)
- 企画整備課 (054-353-2203, 2205, 2206)
  - 港湾整備、広報登庁、港湾統計、港湾計画、工事の検査、
  - 港湾施設・海岸施設及び用役機能の整備等
- 管　理　課 (054-353-2202)
  - 港湾施設(道路、旅客施設、用地)等の管理、保安対策等
- 港　営　課 (054-353-2208)
  - 港湾施設の使用料の賦課徴収、入港船舶の航路指定、
  - 入港料・保留料の賦課徴収等

静岡県清水港管理局
〒424-0922
静岡県静岡市清水区日の出町9-25
SHIMIZU PORT AUTHORITY
TEL 054-353-2203　FAX 054-354-0380

港湾施設

1 航　路

港則法による港界線から富士見埠頭まで、中田川右岸突端から90°60m の地点(以下「A地点」という。)から2°2,180mの地点まで引いた線、同地点から52°680mの地点まで引いた線及び同地点から77°に港界線まで引いた線と A地点から90°200mの地点から2°1,960mの地点まで引いた線、同地点から52°610mの地点まで引いた線及び同地点から77°に港界線まで引いた線との間の水面

2 泊　地

(1) 泊　地

面積(㎡)	内訳(㎡)		
	水深−7.5ｍ未満	水深−7.5 ～ −9.0m	水深−9.0m以上
4,184,413	120,925	95,617	3,967,871

(注)維持のため、外は4次防波堤により区分。

(2) 船だまり

(注)所在地は全て静岡市清水区

名　称	管理者	被　覆　水　域		
		所在場所	面積(㎡)	水深(m)
興津船だまり	静岡県	興津清見寺町	13,100	−1.5 ～ −3.5
袖師第１船溜まり	静岡県	横砂	10,300	−1.5 ～ −3.5
三保船だまり	静岡県	三保	17,300	−0.8 ～ −2.5
計			40,700	

3 外かく施設

区分	名　称	防波堤(m)	防潮堤(m)	護岸(m)	堤防(m)	胸壁(m)
静岡県		5,052.03	604.00	16,354.59	1,632.20	3,754.17
国		—	—	1,641.00	—	—
民	間	30.00	210.00	2,941.00	—	—
計		5,082.03	814.00	20,936.59	1,632.20	3,754.17

4 大型船係留施設

(1) 公共岸壁(管理者:静岡県)

地区名	名　称	水深(m)	延長(m)	係船能力(D/W)	ﾊﾞｰｽ数	主要取扱貨物
新興津	新興津1～2号岸壁	−15.0	700	60,000	2	コンテナ
	興津1～3号岸壁	−10.0	556	15,000	3	木屑炭
	興津4～5号岸壁	−5.5	181	2,000	2	鋼材
興津	興津6～9号岸壁	−10.0	740	15,000	4	木屑炭
	興津10号岸壁	−7.5	168	5,000	1	—
	興津11～12号岸壁	−12.0	440	30,000	2	紙パルプ
	興津13～14号岸壁	−10.0	370	15,000	2	合板
袖師	袖師1～4号岸壁	−4.5	240	700	4	再利用資源
	袖師5号岸壁	−7.5	135	5,000	1	—
	袖師6～8号岸壁	−12.0	720	30,000	3	コンテナ,シャーシ
	袖師9～10号岸壁	−9.0	350	10,000	2	—
	袖師11号岸壁	−12.0	240	30,000	1	石炭製品、木材
	袖師12～15号岸壁	−7.5	520	5,000	4	鋼材
	袖師16号岸壁	−10.0～−12.0	330	10,000	2	再利用資源
	袖師17号岸壁	−9.0	165	10,000	1	石油製品
	袖師18号岸壁	−7.5	72	1,000	1	LPG
江尻	江尻1～5号岸壁	−6.5	497	3,000	5	木屑炭
	江尻6～7号岸壁	−4.5	149	700	2	—
	江尻8～11号岸壁	−4.5	260	700	4	重油
	江尻12号岸壁 (R7.4月供用予定)	−4.5	130	700	1	フェリー
	江尻13～16号岸壁	−4.5	262	700	4	—
	江尻17～18号岸壁	−6.5	185	3,000	2	木屑炭
	清水1～5号岸壁	−4.5	323	700	5	飼肥料
日の出	日の出1号岸壁	−12.0	410	30,000	1	苦鉱,鉱/鉄ズ,水産品
	日の出2号岸壁	−12.0	410	30,000	1	苦鉱,フェリー(R7.4月中旬まで。以降は江尻岸壁へ移転。)
富士見	巴川左岸岸壁	−4.5	100	1,000	1	—
	富士見1～2号岸壁	−5.5	113	700	2	飼肥料
	富士見3号岸壁	−7.5	140	5,000	1	セメント
	富士見4～5号岸壁	−12.0	480	30,000	2	木材ペレット,飼肥料・穀類
	富士見6～7号岸壁	−9.0	329	10,000	2	飼肥料・穀類
折戸	折戸岸壁	—	—	—	—	—
保関	保関岸壁	−5.0	71	1,000	1	鋼材
興津		—	—	—	—	—
三保		—	—	—	—	—
	公共岸壁　計		9,786		68	

※新興津1・2号、興津11・12・13・14号、日の出2号岸壁、江尻12号岸壁は耐震強化岸壁

(2) 専用岸壁

地区名	名　称	管　理　者	水深(m)	延長(m)	係船能力(D/W)	ﾊﾞｰｽ数	主要取扱貨物
新興津	—	—	—	—	—	—	—
興津	ENEOSシーバース2号1バース	ENEOS(株)清水油槽所	−22.0	480	250,000	1	LNG
	ENEOS第2号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−4.8	20	2,500	1	石油製品
	ENEOS第3号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−5.1	100	2,500	1	石油製品
	ENEOS第4号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−4.7	100	1,500	1	石油製品
袖師	ENEOS第6号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−5.3	85	2,500	1	石油製品
	ENEOS第8号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−7.8	90	5,000	1	石油製品
	ENEOS第10号桟橋	ENEOS(株)清水油槽所	−8.1	90	5,000	1	石油製品
	鈴与1号桟橋	鈴与(株)	−5.0	27	1,000	1	化学製品
	鈴与2号桟橋	鈴与(株)	−3.0	—	—	—	重油
江尻	ノオイルミルズバンク	(株)ノオイルミルズ	−11.0	240	40,000	1	米,雑穀,豆
日の出	—	—	—	—	—	—	—
富士見	静岡市岸壁	静岡市	−6.1～−7.3	266	3,000	2	セメント
折戸	—	—	—	—	—	—	—
保関	JFEエンジニアリング1号	JFEエンジニアリング	−5.5	25	1,000	1	鉄鋼
	JFEエンジニアリング2号	JFEエンジニアリング	−5.5	18	3,000(G/T)	1	—
	JFEエンジニアリング3号	JFEエンジニアリング	−5.5	153	9,000(G/T)	1	—
	アイテック1号岸壁	(株)アイテック	−5.5	68	1,000	1	鉄鋼
	アイテック2号岸壁	(株)アイテック	−7.5	200	5,000	1	鉄鋼
	アイテック3号岸壁	(株)アイテック	−6.0	100	2,000	1	鉄鋼
	アイテック4号岸壁	(株)アイテック	−6.5	204	3,000	1	鉄鋼
	カナサト1号岸壁	(株)カナサト重工	−5.0	155	18,000(G/T)	1	RORO,冬期
	カナサト2号岸壁	(株)カナサト重工	−5.5	200	22,000(G/T)	1	RORO,冬期
	カナサト3号岸壁	(株)カナサト重工	−4.5	116	10,000(G/T)	1	RORO,冬期
	中山製鋼所岸壁	(株)中山製鋼所	−5.0	41	1,500	1	鉄鋼
	中山製鋼所物揚場	(株)中山製鋼所	−4.0	112	1,000	1	鉄鋼
興津	清開物流センター岸壁	小野建(株)	−5.9～7.1	99	3,000	1	—
	日本軽金属岸壁	日本軽金属(株)	−11.0	276	50,000	1	化学製品
	日本軽金属汽船機	日本軽金属(株)	−9.0	89	15,000	1	化学製品
三保	三保造船西桟橋	(株)三保造船所	−4.6～−5.2	227	8,000(G/T)	1	RORO,冬期
	三保造船東桟橋	(株)三保造船所	−4.2～−5.0	50	4,000(G/T)	1	RORO,冬期
	清港ドック桟橋	(株)清港ドック	−7.0	60	500(G/T)	6	—
	専用岸壁　計			3,651		35	

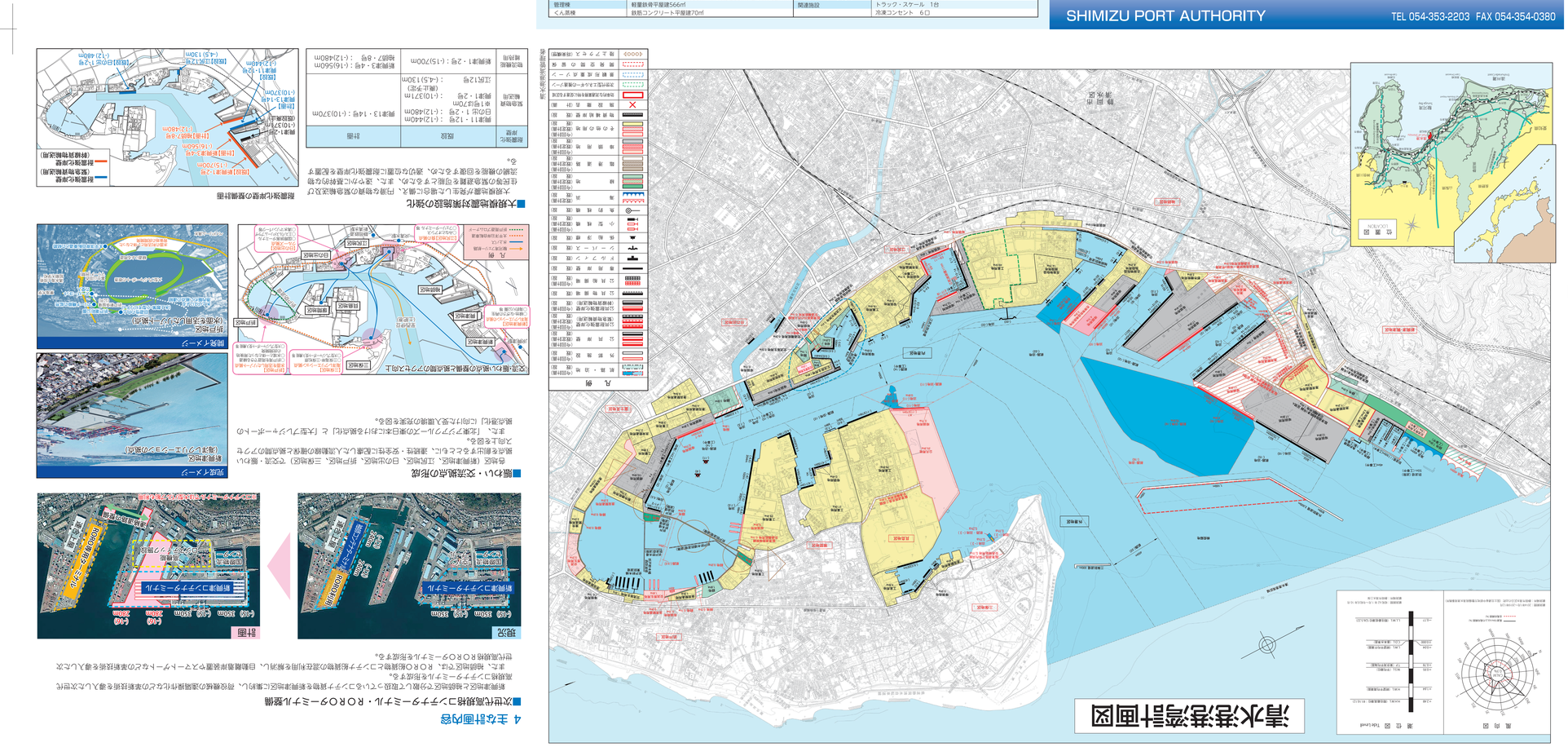
公共・専用岸壁　計		13,437		103	

5 係船浮標

種別	名　称	数量	管　理　者	係船能力 一般	係船能力 船尾	係船の目的
浮標	１号ブイ	1基	静岡県	10,000(D/W)	2	一般船(待機)
浮標	２号ブイ	1基	静岡県	20,000(D/W)	2	一般船(待機)
浮標	三保造船浮標	1基	(株)三保造船所	5,000(G/T)	1	修理船

6 臨港交通施設

名　称	延　長(m)	幅　員(m)
袖師臨港道路	4,290.80	13.0～20.0
その他港内道路	23,033.66	4.0～24.0
合計	27,324.46	4.0～24.0



清水港港湾計画

1 沿革と現状

清水港は、本州の日本海側と太平洋側に位置する三保半島に囲われた天然の良港で、古くから東京と大阪を結ぶ海上交通の要衝として栄えてきた。

特に1960年代の清水港港湾の発展は著しく、当時の産業の発展に伴い、昭和32年に開港指定、昭和37年には「開港重要港湾」に指定され、貨物の急増に対応するため、日本初の本格的な外港開発が進められた。

また、1967年には「特定重要港湾」に昇格し、現在に至っている。

2 清水港の役割と計画の基本方針

■清水港の役割

物流産業
- 内陸部を支えるコンテナ貨物の処理
- 内陸部を支えるRORO船等の貨物一貫輸送の実現
- 資源産業を支える(パルプ)の輸入拠点
- 清水製紙専用岸壁
- 清水製紙(株)、日本製紙(株)、LNGの輸入拠点
- 製鉄所、製紙産業

交流産業
- 東北と関西、東京と九州を結ぶ海運要衝の港
- フェリーなどの客船入港港
- 大型客船の寄港

観光産業
- 清水港内の観光船
- 富士山や三保の松原、日本平などへの観光拠点

■港湾計画の基本方針

計画の目標年次：2030年代前半

物流産業
判断者が使いやすさを重視できるよう
- 次世代高規格コンテナターミナルを形成
- 内陸部物流機能を強化
- 内陸部物流機能のDXターミナルを形成

交流産業
誰もが使いやすく、誇れるような賑わいを生み出すため
- 交流拠点、賑わい施設を創出
- 交流人口の拡大に向けた賑わい機能の強化
- 客船岸壁の整備

観光産業
安全で安心して楽しめる観光地を目指すため
- 防災・減災対策の強化
- 大規模地震発生時の緊急物資輸送機能の強化
- 港湾BCPの継続的な改善
- 観光客の安全・安心の確保

3 計画の概要